

全国のリスナー・読者のみなさんから、
ファミリー・フォーラム宛に、Eメールやお便りを頂いています。
その一部をここで紹介いたします。

○「断絶世代とつながるために」を読みました。特に、「人はだれかが共に心を痛めたり、悲しんだりしてくれていると感じる時に慰めを受けること」と「問題を扱う前に感情を扱うこと」が重要であることを知りました。(東京都 Tさん)

○「男の子を育てる」を読みました。ちっともじっとしない2歳児を抱えての読書でしたが、小さな男の子が神さまにどう造られたかが分かりやすく書かれていて、安心と元気をもらいました。(徳島県 Oさん)

○「そっと愛が」シリーズ1～3を読みました。

私は、日頃あまり小説などは手に取らないのですが、妻にすすめられて読み始めたら止まらず、3冊ともあっという間に読み終わりました。

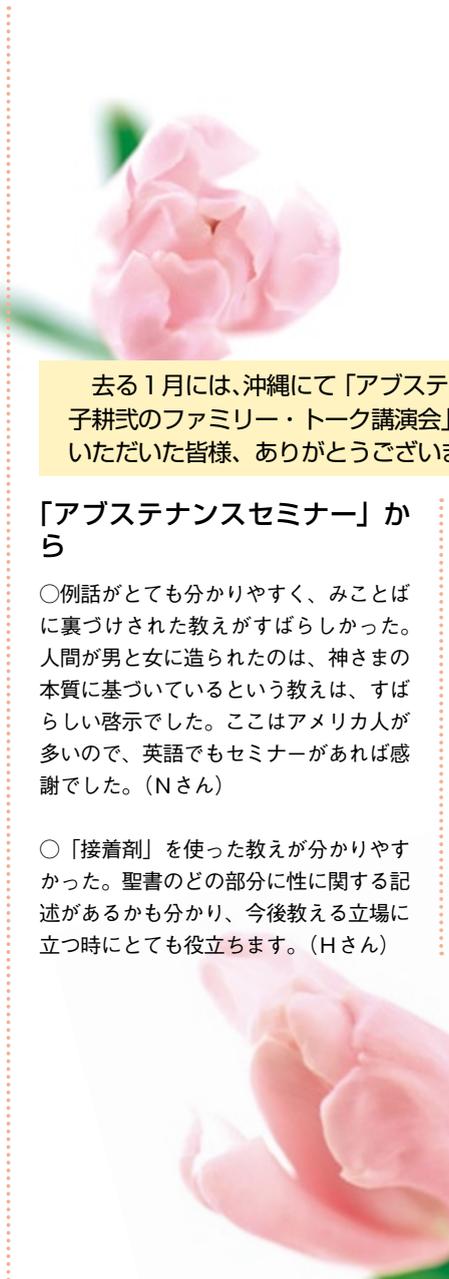
主人公は、アメリカの西部開拓の時代の夫婦ですが、2人とも配偶者を事故や病で亡くし、それでも与えられたそれぞれの子どもを育てる中で心の通い合いがつつづられます。

西部開拓の時代は物のない時であり、貧しさや死と背中あわせの状況で、人々が必死に力を合わせて生きていくしか道がなかったのですが、その時代の生き方に人としての本来のあり方を感じました。現代日本では、物やお金が豊かになると不満が出やすく人々の支えあいが少ないですが、本書では乏しさのなかで人々が支えあい、善意と信仰の価値がきらめいています。また、ここかしこに見られる昔の素朴なクリスチャンの生き方や発想に、さすがしさを感じました。

私たちの教会では、一読者の評判から何人もの人が読むことになり、わが家では今は娘が読みふけています。自費出版と聞きましたが、こうした本が売れていくことを祈ります。4冊目の出版を親子で待っています。(横浜市 鯉淵信也さん)

*編集部より

鯉淵さん、ご感想をお寄せいただき、ありがとうございます。4巻は3月末に発売の予定です。



去る1月には、沖縄にて「アブステナンスセミナー初級コース」と「金子耕式のファミリー・トーク講演会」が開かれました。ご協力、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

「アブステナンスセミナー」から

○例話がとても分かりやすく、みことばに裏づけされた教えがすばらしかった。人間が男と女に造られたのは、神さまの本質に基づいているという教えは、すばらしい啓示でした。ここはアメリカ人が多いので、英語でもセミナーがあれば感謝でした。(Nさん)

○「接着剤」を使った教えが分かりやすかった。聖書のどの部分に性に関する記述があるかも分かり、今後教える立場に立つ時とても役立ちます。(Hさん)

「ファミリー・トーク講演会」から

○早く家に帰って子どもの顔を見たくなる講演でした。ありがとうございます。子育てを楽しもうと思元気づけられました。(Rさん)

○子育てって、人生のすばらしいテーマだと思いました。今は、孫との時間、感動の時間に感謝しております。今回、本を購入できたので、息子にプレゼントしたいと思います。(Mさん)



お便り募集

編集部では、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。

home.office@ffj.gr.jp
TEL&FAX045-933-3875